

2024年度 愛知県・市町村人口問題対策検討会議  
第1回農林水産業振興ワーキンググループ 議事概要

日時：2024年6月27日（木）

午後3時から午後4時

場所：愛知県東大手庁舎1階 103会議室

<出席>

(市町村)

豊田市農政課・企画課、田原市農政課、南知多町産業振興課、美浜町産業課、半田市産業課、刈谷市農政課、蒲郡市農林水産課、豊明市農業政策課  
*岡崎市企画課・農務課・中山間政策課、西尾市農水振興課、新城市農業課、愛西市産業振興課、設楽町産業課、東栄町経済課、豊根村産業課、安城市農務課、常滑市経済振興課、知多市農業振興課、知立市経済課、高浜市経済環境G、阿久比町産業観光課、東浦町農業振興課、幸田町産業振興課*

※斜体はオンライン参加

(県)

農業水産局、農政課、農業振興課、農業経営課、水産課、林務課、地方創生課

<農林水産推進監開会挨拶>

5月17日に愛知県・市町村人口問題対策検討会議を開催した。

農林水産業の振興をテーマにWGを設置し、現状や課題を共有するとともに、対策を検討していく。

農林水産業では高齢化や担い手不足が進んでおり、経営環境も厳しい状況。

皆様と愛知県の農林水産業の担い手の現状や課題を共有し、地域の活性化につながる政策の実現に向けて、一丸となって対策を検討していきたい。

<議題について>

事務局から議題について説明。

- ・愛知県の農林水産業の担い手の現状について
- ・農林水産業の担い手に関する施策について
- ・政策の検討について

市町村からの政策提案を募集し、次回（9月頃）のWGで協議する。

<意見交換>

(主な意見)

- ・ 条件不利な中山間地域の人口減少が特に課題。
- ・ 農業の担い手の確保だけでなく、地域づくりと農林業をどう繋げていくかが重要。
- ・ 親元就農が減少している現状があり対策が求められている。既存の制度では親元就農への支援が薄いので、県と一緒に支援策を考えていきたい。
- ・ 収入保険の加入に向けた支援についても県と一緒に考えていきたい。
- ・ 新規就農者は収入が不安定なので定着が課題である。
- ・ 県内の市町村同士での人口の奪い合いにならないような施策の検討が必要。
- ・ 県外からの呼び込みや、県外に出ていかないような支援を考えていけるとよい。
- ・ 新規就農者のお金だけじゃないニーズを把握する必要がある。他産業とのネットワークづくりや、やりがいづくりなど。
- ・ 畜産業の臭気対策についても広域的な対策が必要と感じている。
- ・ 新規就農者にとっては収入の見込みを立てるために、販路の確保が重要。
- ・ 県の農起業支援ステーションの取組強化には賛成である。企業参入に対する農地の紹介など市としても連携できることがあると考える。
- ・ 兼業農家の高齢化も進んでおり、耕作されない農地が増えてくることを懸念している。早期退職者や定年帰農者による就農も増えているが、現在の支援制度では原則50歳未満の新規就農者しか対象にならないので、農地を維持する上でも支援が必要。
- ・ 海業で何かできないか検討している地域もあるので、何か支援ができないか県と一緒に考えていきたい。